

5 . 少子高齢社会への対応

少子高齢化の進行により、公共基盤や施設のバリアフリー化や高齢者、障害者を含むすべての人にやさしい公共空間の整備が求められています。このため、バリアフリー化を推進するとともに、案内・誘導のサインを整備することにより、利用しやすい空間づくりを推進します。また、駅周辺における再開発事業等の機会を捉え、多様な保育ニーズに応える保育施設の導入を促進するなど、少子高齢社会への対応を図ります。



東口駅前広場のサイン

（１４）自由通路、地下街等でのエレベーター、エスカレーターの設置

川崎駅周辺のバリアフリー化の状況は、東西自由通路の階段部分や東西連絡歩道橋の日航ホテル接続部などにおいて、バリアが存在し、高齢者、障害者を含めたすべての人々が利用しやすいバリアフリー化への対応が求められています。

こうした高低差の解消を図るため、昇降設備を整備してバリアフリー化を推進します。



東西自由通路

（１５）安全でわかりやすく快適な駅前広場整備

駅前広場は、自動車交通を処理する空間だけではなく、人が快適に移動するための歩行者空間の整備が求められています。このため、駅前広場再編にあわせて、十分な歩行者空間の確保や憩いの空間を整備するとともに、案内・誘導サインの整備を図り、快適な広場空間の整備を図ります。



東口駅前広場の歩行者通路

（１６）市民ニーズに対応した保育施設の整備推進

ライフスタイルの多様化や市民ニーズの変化などから、保育施設の配置を求める声も寄せられています。駅周辺の再開発事業などの機会を捉えて、市民のニーズに対応する保育施設の導入を促進するなど、就学前児童数の推移等の今後の社会動向を踏まえながら対応を図ります。



西口地区の YMCA かわさき保育園

